

関東学院大学 vs 拓殖大学

10月26日(日)
11:30K.O.
古河

首位を守っているが、2位に勝点3差に迫られた関学大と、連敗で5位に後退してしまった拓大との対戦。関学大は2位以下の足音が迫る中、拓大は昇格争いに踏みとどまるため、負けられない試合だ。

関学大は前節、日体大とスコアレスドローで勝点1を上積みするにとどまった。石村大監督が「攻撃面でもっと相手に脅威を与えられるようなプレーができないといけない。勝点1しか取れない試合内容だった」と話したように、相手ゴールに迫る決定的なシーンをつくることできず、1対1の対応に勝る日体大の攻撃に耐えてなんとか勝点1をもぎ取った形となった。しかし、内容が良くないなりに勝点を取れているのが現在首位にいる所以。「負けられない試合をすることも今後は重要だ。DF土館賢人主将(4年)をはじめ、ケガ人の穴をチーム全体で埋めている。「力のあるチームとの対戦が続くので、全力で胸を借りるつもりで臨みたい」(石村監督)。

対する拓大は前節、法大との上位対決に0-1で敗れ、2連敗を喫してしまった。後期は第16節まで負けなしで来ていたが、これで2試合連続無得点と、攻撃力にもやや陰りが見えるのが気がかりだ。法大戦は「相手

ができなかった」と玉井朗監督が話したように、自陣に押し込まれるシーンが多く、攻撃はカウンターからの単発に抑えられた。42分に退場者を出しながら法大の攻撃を粘り強くしのいでいたものの、69分にPKによって与えた1点に泣いた。上位とどれだけ戦えるかで、昇格に近づきチームの経験にもなる。底力を見せられるか。

<出場停止>高橋賢司(拓大) / 3回警告:三浦勇人・多田和明(拓大)

<前期の対戦>関学大2-0拓大

関学大	拓大
2. 吉田	2. 谷川
8. 普光院	4. 小針
3. 原島	3. 三浦
7. 太田	8. 菅能
1. 井田	18. 河野
	19. 森川
	1. 佐川
23. 長谷川	20. 川崎
19. 山口	26. 小島
22. 井上	
32. 吉田	7. 大森
16. 木村	13. 新山

神奈川大学 vs 日本体育大学

10月26日(日)
11:30K.O.
保土ヶ谷

苦しみながら2位の座を死守している神大と、1年での1部復帰が難しくなった日体大との対戦。3得点を記録した神大の攻撃力は、完全復調と言えるかどうか。

その神大だが、前節は青学大との勝点2差での対戦で、お互いが攻撃の良い面を出し合った激しい打ち合いを3-2で制した。「連戦で体力を消耗していた中で、出足の良い試合ができた。先制点を取れたことが一番の収穫」(松永道敬総監督)。一旦追い付かれたものの、55分、57分と立て続けに得点を奪って流れを決めた。3点取っても2点取られる試合は後期2度目だが、なかなか勝点を伸ばせず苦戦していた中、重要な試合で勝ち切ったことは大きい。残り4試合の上位対決も前期のように簡単に勝てる試合はないだろうが、前期のような得点力を見せたいところ。「個々の良い部分を出し、ミス

を恐れずゴールを奪える試合をしたい」(松永総監督)。一方の日体大は前節、首位の関学大と対戦してスコアレスドローに終わった。今季、内容的には評価できる試合でも勝利という結果につなげられていないことが常に課題であるが、その典型的なゲームとなってしまった。シュート数は11-5。1体1の局面で上回り、また、DFラインからの正確なフィードを有効に活用して攻め

込む時間が長かっただけに、なんとか1点をもぎ取りたかった。「点を取りに積極的に行っていたことはよかったが、得点に結びつかず勝ち切れなかった」(倉又寿雄監督)。上位グループと勝点で離されつつあるだけに、順位を上げるためには負けられない。思い切りの良い試合を期待したい。

<3回警告>長野祐太・鈴木翔太・芦野翔太(神大)、
ンドカ ボニフェイス(日体大)

<前期の対戦>神大0-0日体大

神大	日体大
3. 高木	6. 赤平
11. 星	26. 福田
4. 藤原	20. 高野
16. 武田	25. 輪笠
1. 阿部	7. 長谷川
	27. 岩城
	1. 伊藤
6. 前田	24. 鈴木
	23. 小泉
5. 杉山	3. 広瀬
22. 伏木	10. 阿部
7. 長野	2. 高野

* 予想布陣は直近の試合を参考に作成しています *

JR 東日本カップ 2014 第 88 回関東大学サッカーリーグ戦

if OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM
Division2 2014-NO.19

編集:五味亜矢子 発行:(一財)関東大学サッカー連盟 協力:関東大学サッカーサポーターズクラブ



3チームが勝点3差で昇格争い!

JR 東日本カップ 2014 第 88 回関東大学サッカーリーグ戦・2部リーグは、いよいよ残り4試合の終盤戦に突入する。特に昇格争いは大混戦の様相で、予断を許さない状況となってきた。前節は、首位の関学大が日体大とスコアレスドローで足踏み、2位の神大が青学大との接戦を3-2で制し、好調・東洋大も産能大に4-1と大勝してともに勝点34、首位まで勝点3差に迫った。また、法大も拓大を1-0で退けて順位を逆転し、昇格圏まで勝点2差。下位グループでは平国大が日大を1-0で下して降格圏を突き放しにかかっているが、東学大と東農大は互いに譲らず1-1に終わった。

得点ランキング		アシストランキング	
11: 遊馬 将也 (東洋大)	8: 伊東 純也 (神大)	8: 伊東 純也 (神大)	8: 伊東 純也 (神大)
星子 直哉 (平国大)	大森 勇希 (拓大)	大森 勇希 (拓大)	大森 勇希 (拓大)
9: 菅沼 優聖 (関学大)	7: 仙頭 啓矢 (東洋大)	7: 仙頭 啓矢 (東洋大)	7: 仙頭 啓矢 (東洋大)
7: 富樫 敬真 (関学大)	6: 恵 龍太郎 (青学大)	6: 恵 龍太郎 (青学大)	6: 恵 龍太郎 (青学大)
星 広太 (神大)	5: 菅沼 優聖 (関学大)	5: 菅沼 優聖 (関学大)	5: 菅沼 優聖 (関学大)
中野 春樹 (日大)	木村 魁人 (")	木村 魁人 (")	木村 魁人 (")
成瀬 琢斗 (")	小林 玲櫻 (日大)	小林 玲櫻 (日大)	小林 玲櫻 (日大)

昇格争いは2位から4位までが勝点2差の大混戦。今節は、ことごとく上位を倒している平国大が東洋大と対戦する。また、11-12位の対決も注目だ!

JR 東日本カップ 2014 第 88 回関東大学サッカーリーグ戦 星取表

(第18節終了時。上段が前期の対戦結果)

順位	2部	関学大	神大	東洋大	法大	拓大	青学大	日体大	日大	東学大	平国大	東農大	産能大	勝数	負数	点数	得失	得失	勝点
1	関学大	302 11/15	102 11/15	201 11/9	200 10/26	104 11/1	222 0/0	402 100	300 100	500 100	201 100	343 100	11	3	4	35	20	15	37
2	神大	203 日体大G	102 11/2	301 11/9	400 302	222 10/26	000 302	100 100	301 100	503 100	300 100	400 100	10	4	4	38	21	17	34
3	東洋大	201 002	100 201	002 302	002 11/2	101 11/9	102 301	001 200	001 11/15	302 10/25	100 300	400 401	11	6	1	30	19	11	34
4	法大	102 横須賀	103 法大G	200 203	300 100	222 301	000 11/15	404 10/25	200 301	000 100	100 300	222 200	9	4	5	33	20	13	32
5	拓大	002 古河	004 横須賀	200 法大G	003 001	300 11/15	303 201	200 000	003 401	500 200	100 100	100 001	9	6	3	25	20	5	30
6	青学大	401 産能大G	222 203	101 夢の島	222 103	343 産能大G	200 201	201 103	002 10/25	101 100	300 201	001 100	8	5	5	30	25	5	29
7	日体大	222 000	000 保土ヶ谷	201 103	000 日体大G	002 102	002 102	000 11/8	100 002	201 301	101 11/1	401 201	6	6	6	20	21	-1	24
8	日大	204 001	001 203	100 002	404 平国大G	002 000	102 301	000 江戸陸	200 301	002 001	101 11/15	300 11/1	5	9	4	22	25	-3	19
9	東学大	003 101	103 101	100 東学大G	002 103	300 104	200 早大G	001 200	002 103	302 11/1	001 101	101 11/8	5	9	4	19	28	-9	19
10	平国大	005 100	305 201	203 平国大G	000 201	005 002	101 001	102 103	200 100	203 日体大G	001 11/9	406 11/15	5	11	2	22	39	-17	17
11	東農大	102 102	003 101	001 003	001 003	001 101	003 日体大G	101 東学大G	101 101	100 たつこの	100 10/25	500 10/25	3	10	5	15	26	-11	14
12	産能大	303 001	004 001	004 104	222 002	001 100	100 001	104 102	003 産能大G	101 たつこの	604 産能大G	005 東国大G	3	12	3	17	42	-25	12

体育会学生のための
リクナビ就職エージェント

自分のフィールドを探そう。

部活と就活にメールを送る! 体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」

リクナビ 体育会



東京農業大学 vs 産業能率大学

10月25日(土)
11:30K.O.
東国大 G

11位の東農大と12位の産能大が、勝点2差で対戦する。降格圏の脱出にはつながらないが、10位からこれ以上離されないためにはどちらも負けられない。前期は東農大が大勝しているが、今回は両チームの意地のぶつかり合いとなるだろう。

東農大は前節、9位の東学大と対戦して1-1の引き分けに終わった。連敗脱出という意味では悪い流れを止めたと言えるが、「勝点3がほしかった」(秋吉保浩監督)というのが正直なところだろう。ロングボールを前線に納めて組み立てる攻撃でリズムをつかみ、東学大のパス攻撃はある程度封じただけに、立ち上がりの3分いきなりセットプレーから奪われた1点が痛かった。なかなか失点が減らない今季だけに、なんとか2点目を奪いたい。「大切な試合になる。相手をリスペクトしつつ、自分たちの良さを出して頑張りたい」(秋吉監督)。

対する産能大は前節、東洋大と対戦して1-4で敗れてしまった。大量失点はなくなってきていたが、好調・東洋大に対しては前半終了間際の35分、38分、42分に連続失点。序盤から点を取り合い、接戦の様相と思われたが、一気に流れを相手に渡してしまった。上位チームに3点のリードを与えてしまったことで、後半はリスク

を冒して出てこない東洋大の守備を崩すことは難しかった。これからは下位グループ同士の対戦。U-19日本代表からFW越智大和(1年)も戻る。「(東洋大戦は)気持ちの弱さが出てしまった試合だった。失うものはないので、ひたむきにやっていきたい」(加藤望監督)。
<出場停止>石渡光貴(産能大) / 3回警告:加藤聖哉・小田原貴・金裕志・村山翔・佐々木翼・櫻岡徹也(東農大)、楠元秀真・見留耀太・須永亨(産能大)
<前期の対戦>東農大5-0産能大

東農大	産能大
3. 加藤	15. 杉崎
8. 佐々木	26. 桜井
5. 櫻岡	4. 楠元
25. 金	32. 木下
21. 松尾	10. 見留
14. 石川	8. 浜下
12. 榎原	1. 森谷
10. 浜田	14. 須永
15. 小田原	6. 遠藤
13. 岡庭	33. 上長
17. 徳田	5. 渡辺

東洋大学 vs 平成国際大学

10月25日(土)
11:30K.O.
平国大 G

5連勝と絶好調の東洋大に、後期初めて連勝を飾った平国大が挑む注目の対戦。後期、昇格圏にいるチームをことごとく破ってきている平国大が、自らの残留も手繰り寄せる勝利をつかめるか。逆に東洋大が、ついに昇格圏への浮上を果たすだろうか。

その東洋大は前節、最下位の産能大と対戦し、4-1と快勝。2位の神大とぴったり勝点で並んでいるとともに、得失点差も詰めにかかった。15分に先制点を奪いながら22分に1点を献上し、やや守備に混乱をきたしたが、前半終了間際、35分にFW仙頭啓矢(2年)が直接FKを決めてから立て続けに3点をマークして一気に流れを決めた。「大事な試合でしっかり勝てたことは大きい。欲を言えば後半、追加点が取れなかったことが課題」(古川毅監督)。平国大の粘り強い守備をどう崩すか、また、前期7位から追いついてきた東洋大がどこまで連勝を伸ばすか、見ものである。

対する平国大は前節、日大と対戦して1-0で勝利し、降格圏となる11位との勝点差を3まで広げることになった。後期、首位チームを2度破るなど金星を挙げながら、順位に近いチームに勝てていなかっただけに、日大の攻撃をしっかり抑えてようやく連勝にこぎつ

けた。守備時には厚いブロックで日大に効果的なラストパスを許さず、攻撃ではやや迫力を欠いたが、セットプレーのチャンスをゴールにつなげた。「難しいゲームだったがよく乗り切れた。(チャンスを)決め切れなかったのは課題。残り試合は確実に決め切ることが大事になる」(西川誠太監督)。ホームで好プレーを見せたい。
<3回警告>小山大貴・遊馬将也・仙頭啓矢(東洋大)、尾林一樹・千葉真史(平国大)
<前期の対戦>東洋大3-2平国大

東洋大	平国大
3. 筑井	11. 千葉
20. 仙頭	5. 小松崎
12. 瀧澤	10. 堀越
15. 小山	22. 横瀬
1. 浅沼	9. 星子
7. 斉藤	6. 鎌田
4. 郡司	1. 荒川
18. 遊馬	7. 尾林
8. 小島	20. 村川
16. 石坂	2. 増田
	25. 玉田

青山学院大学 vs 東京学芸大学

10月25日(土)
11:30K.O.
早大 G

昇格ラインからやや離されてしまった青学大と、降格ラインを見ながらの戦いとなっている東学大との対戦。お互いに技術の高さを武器にした組み立てを見せるチームだが、重要な勝負をかけたゲームで自分たちらしさを出せるのはどちらか。

青学大は前節、昇格圏をとらえるチャンスだった神大戦で敗れた。どちらも負けられない大一番は点の取り合いとなり、後半立ち上がりの連続失点で先に2点のリードを許し、75分の得点で1点差に迫ったものの1点及ばず2-3で万事休した。「受け身になってしまったことが残念。昇格をつかみにいくという気持ちを出せなければ結果につながらない」(福永泰コーチ)。ここ4試合で2失点と失点も少なく、上位を追う緊張感の中で好調を保ってきたが、大事な直接対決では良い面を出し切れなかった。「自分たちにできることは常に全力で戦うこと。先を見ず次の試合に集中したい」(福永コーチ)。

一方の東学大は前節、11位の東農大と対戦し、1-1の引き分けに終わった。まだ勝点差は開いているものの、降格圏を突き放すことができなかった。前節もまた、先制点を奪うことには成功したが、前半のうちに追い付かれ、後半はロングボールを多用してくる相手の前

に自分たちのリズムでパス交換ができず、得点チャンスを作り出せなかった。「勝ち切れない試合が多い。まずは勝点3を取りたい」(檜山康監督)。内容より結果を求める下位同士の直接対決は独特の戦いにくさがある。その前に今節、似たタイプの青学大との戦いはぜひとも勝ち切っておきたいところだ。

<3回警告>荒木大吾(青学大)、富澤右京・五十嵐亘(東学大)
<前期の対戦>青学大0-2東学大

青学大	東学大
6. 服部	5. 廣木
7. 荒木	18. 久保
3. 御牧	11. 五十嵐
18. 山田	4. 脇本
1. 高橋	8. 菅
8. 伊藤	1. 須賀
4. 後藤	7. 平田
29. 上村	3. 安藤
25. 水島	9. 山田
10. 関谷	16. 富澤
26. 森下	2. 吉田

法政大学 vs 日本大学

10月25日(土)
13:50K.O.
平国大 G

昇格圏まで勝点2差の法大と、4連敗を喫してしまった日大との対戦。大混戦の昇格争いで一つも負けられない法大に対し、連敗を止めたい日大がどう挑むか。

法大は前節、拓大との上位対決を1-0という僅差で制した。前半のうちに相手が退場者を出し、難しいゲームになる可能性もあったが、69分に手にしたPKのチャンスを交代出場したFW日影健太(3年)が決めた。長山一也監督が「今季一番と言ってもいいくらい良くないゲームだった」と話したように、前線にボールが収まらず、仕掛けが単発でラストパスがなかなか出ない展開の中、連敗を回避し、虎の子の1点で勝ち切ったのは大きい。昇格争いでは上位同士の対決を残すだけに、「自分たちは勝っていくしかないが、自力で順位を変えるチャンスはある」(長山監督)。その前に、前期は激しい点の取り合いとなった日大戦をしっかりモノにしたい。

その日大は前節、10位の平国大と対戦して0-1で敗れた。敗戦そのものと同時に、下位チームに勝点3を与えてしまったことが痛かった。試合内容も、平国大の厚いブロックを崩すことができず、シュートはわずか2本に抑えられた。逆に、失点はCKのクリアボールを押し込まれるというダメージの大きなもの。「崩されたわ

けではないが、結果としてあのような失点。相手より気持ちの面で上回ることができなかった」(川津博一監督)。今節は昇格争いの中にいる法大が相手。「思うようにやらせてくれないと思うが、我慢して勝点を取れるかどうか」(川津監督)。ここ5試合で得点はわずか2。もう一度、好調時の攻撃のリズムを取り戻したい。
<3回警告>青島拓馬・相馬将夏・白石智之・田代雅也(法大)、成瀬琢斗(日大)
<前期の対戦>法大4-4日大

法大	日大
2. 永戸	16. 榎原
14. 白石	9. 宇都宮
22. 田代	3. 奥村
25. 西室	7. 廣田
1. 四宮	13. 中野
10. 高橋	19. 高山
9. 相馬	21. 小淵
5. 山口	33. 圓沸
3. 宗近	30. 梓
8. 三田	8. 床井
6. 星	29. 高田